

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	32	3	
	②	職員の配置数は適切であるか	34	1	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	1	<改善点> 危険防止対策との関係で難しい部分もある。（抱っこしながらの鍵の開閉など） <工夫点> 写真カードの使用
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	35	0	<工夫点> イスを子どもによって、変える等の工夫がある。 毎日、部屋・おもちゃ等の消毒を実施。 机・イスの収納スペースがあり、部屋を広々と使える。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	35	0	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	33	2	<工夫点> いただいたご意見をもとに各クラス毎に改善等を検討し、実行している。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	35	0	<工夫点> 毎年行っている。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25	3	記載なし 7 <改善点> 法人として検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	34	1	<工夫点> コロナで出かける研修は難しくても、ZOOM を利用しながら研修機会を設けて頂いた。
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	35	0	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	34	1	

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	1	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34	1	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	35	0	週の終わりに、次の週の計画を立てている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	35	0	<工夫点> 季節の行事など、コロナの中でも楽しめる様に企画・準備されている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	35	0	<工夫点> 机上・運動等、活動が偏らない様に考えている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	35	0	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	35	0	<工夫点> 支援計画に沿って、細かく記録している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	35	0	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	34	1	<工夫点> 半年に一回個別懇談を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	35	0	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	34	1	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	34	1	

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	34	1	<改善点> 主治医と直接コンタクトが取れない場合もある。間に保護者が入ると、曖昧になってしまう場面があった。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	35	0	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	35	0	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33	2	<工夫点> 県内の同様施設との意見交換会を実施
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	31	4	<改善点> コロナのレベルが高い時は、難しい。 <工夫点> ・個人レベルでは実施。集団ではコロナの為中止。就学や、移行、年長児等、交流が必要な子のみ実施
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	32	3	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	35	0	<工夫点> 連絡帳への記入や送迎時の会話等で、家庭の様子と園での様子を共有している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	30	5	<工夫点> ペアレントトレーニングとしては出来ていないが、保護者に対し、家庭支援はきめ細かく行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	35	0	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	35	0	<工夫点> 一人ひとり丁寧に時間をかけて個別懇談を行い、同じ方向で生活の向上を図っている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	35	0	<工夫点> 懇談・連絡帳を通して、悩みや相談に対して助言や支援をしている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	34	1	<工夫点> ・コロナで保護者同士の関りの機会が少なかったが、保護者付の際に、かわりが持て、支援できた。 ・保護者会役員さんとの連携を紙面での支援ができた。

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	35	0	<改善点> 保護者中心になっている。 子どもからの相談・申し入れは、読み取る事が大切だが、難しく思う。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	35	0	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	35	0	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	35	0	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	34	1	コロナの為難しい部分が多い。 花やクリスマスケーキの寄贈等から、地域との繋がりを感じた
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	29	6	<工夫点> 保護者への引き渡し訓練等行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	35	0	<工夫点> 月一回、避難訓練を実施
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	35	0	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	35	0	<工夫点>・保護者への事前アンケートを実施。懇談を行い医師の指示書提出→職員会で共有・職員全員でのエドベン研修・トレイの色分けや部屋を分けての食事提供。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	34	1	<工夫点> 朝会や職員会で報告し、共有
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	32	3	今後委員会を作り、活動していく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	34	1	